

避難行動要支援者に対する安否確認システムの構築と運用

星和台鳴子防災福祉コミュニティ

企画概要・プログラム

企画概要

「発災時の安否確認システムの試験導入」を実施し、高齢化が進む戸建て住宅地域での安否確認等の支援システムの構築を図る。

プログラム

株式会社コムアンドコム「安否LifeMail」を試験導入することにより、災害時だけでなく平時の見守りにも活用できる地域に最適なシステムを構築する。

- ① システムの構築は、3カ年計画で段階的に整備していく。
- ② 1年目は、防コミ役員（22名）を利用登録する。（8月）
- ③ 3回の安否確認訓練を行った。
- ④ 次年度以降、星和台地区の事情に合う内容にカスタマイズを行う。
- ⑤ 最終的に登録数を増やし、平時にも高齢者向けの「おたすけソフト」として活用できる内容にしていく。

計画

事業費

事業全体にかかる費用	¥201,770
提案型助成額	¥200,000

活動実績

9月	1日	安否確認訓練
1月	1日	安否確認訓練（能登半島地震）
1月	17日	安否確認訓練

参加団体

星和台鳴子防災福祉コミュニティ

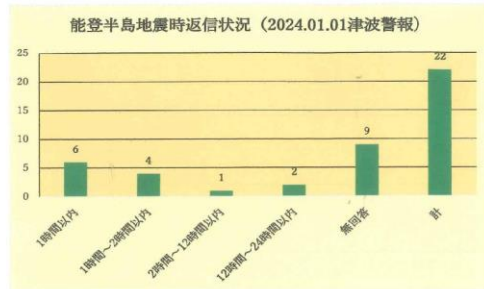
発災時の安否確認システムの構築に向けた試験報告

- 目的：発災時の星和台鳴子地区の安否確認システムの構築に向け、令和5年度は既存サービスを利用した試験運用により、独自システムの構築に向けた課題を洗い出す。
- 状況
 - ・8月に既存サービス（安否確認Life Mail）を導入し、防コミ役員（22名）の利用登録を行った。
 - ・訓練も含めて3回の安否確認を実施した。

(令和5年9月1日：訓練予告有り)



(令和6年1月1日：能登半島地震 兵庫県北部津波警報発令 自動発信予告なし)



(令和6年1月17日：兵庫県南部地震発生日 訓練事前予告なし)

